

課程 全日制

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1	科	工業科
使用教科書		Agenda	家庭基礎	実教出版					
補助教材等		Agenda	家庭基礎準拠	学習ノート	実教出版				

1 学習の到達目標

生活様式の多様化が進む現代社会において、主体的に生活を営み、生活の充実向上を生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 授業は、教科書や副教材など指示された教材を準備する。
- 課題は、全て実施し提出期限を守る。
- 授業中は、学習ノートやプリントを主体的に取り組む。
- よりよい社会の構築に向けて、主体的、対話的で深い学びにおけるグループワークやペアワークを行う。課題解決のために話し合い、レポート作成、発表等の活動に参加する。
- 自立に必要な知識と技術の習得に心掛ける。
- 家庭生活では、授業で学んだ事柄について積極的に取り組む。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解していると共に技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定する。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現して課題解決する力を身につけている。	さまざまな人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組む。地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を改善と創造し、実践しようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 学習ノート</li> <li>・ 授業プリント</li> <li>・ 調理実習、制作物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業活動への取り組み状況</li> <li>・ 発表</li> <li>・ I C T機器の活用状況</li> <li>・ 提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席状況</li> <li>・ 授業活動への取り組み状況</li> <li>・ 発表</li> <li>・ I C T機器の活用状況</li> <li>・ 提出物</li> </ul>

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a)知識・技能、(b)思考・判断・表現、(c)主体的に学習に取り組む態度

学期	月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
1 学期	4	・生活設計 自分・家族  ・食生活	教科書 学習 ノート プリント	25	青年期の自立 家族・人生・生き方 家族に関する法律  栄養と食品 栄養素の働き 食品の安全性 豊かな食生活の背景 食事をつくる①	各単元における知識や現状と課題について理解している。(a) 各単元の内容に関して、考察できる。(b) 授業での話し合いや実習に主体的に取り組んでいる。(c) 調理を科学的に理解し、完成できる。(a, b, c)
	5					
	6					
2 学期	7	・災害に備える ・ホームプロジェクト ・消費と環境  ・高齢者 ・社会福祉 ・子ども ・消費  ・住生活	教科書 学習 ノート プリント  やさしく学べる 消費生活2023	30	住まいの安心・安全  持続可能な社会 SDG s 高齢者を支える制度としくみ 共生社会の実現 子どもと遊び 子どもの権利と福祉 意思決定と契約 消費者問題 消費者保護 消費者力検定 住まいの選択	各単元における知識や現状と課題について理解している。(a) 課題設定、解決方法を考え、計画的に実践している。(b)  実践を効果的にまとめ、他者と共有できる。(b, c) 各単元の内容に関して、主体的に考察できる。(b) 授業での話し合いや実習に積極的に取り組んでいる。(c) 消費者力検定に主体的に取り組むことにより、消費者力を身につけている。(a, b, c)
	8					
	9					
	10					
	11					
3 学期	12	・食生活  ・衣生活	教科書 学習 ノート プリント	15	食事をつくる②  衣服の機能 衣服の材料 衣服管理 安心して衣服を着る 基礎縫い これからの衣服 (サステイナブルファッション)	調理を科学的に理解し、完成できる。(a, b, c) 被服の機能と着装、被服材料について理解している。(a) 衣服管理、着装、これからの衣生活について主体的に考察できる。(b) 実習に主体的に取り組み完成できる。(c)
	1					
	2					
	3					

合計 70 時間

課程 全日制

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	3	学年	3	科	全学科
教科書			フードデザイン			教育図書			
副教材			フードデザイン	ワークノート			教育図書		

1 科目目標と評価の観点

目標	健康と食生活・栄養・食品科学・食文化・調理実習・テーブルコーディネートなど食に関する幅広い知識と技術を学ぶ。また、自らの食生活を見直し、より良い食生活を創造していこうとする実践的態度を養う。			
評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
	食生活の課題について関心を持つ。課題改善を目指し、主体的に取り組む実践的態度を身につける。	食生活に関する課題解決を目指して思考を深める。また、自らの食生活を見直し改善する思考力と判断力を養う。	食生活を主体的に運営するために必要な技能の習得を目指す。	食生活（健康・栄養・食文化）に関する知識をつけ、主体的に運営する力を身につける。世界の食文化についても知識を深める。

2 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
学習状況の観察	◎		○	○	出席状況・授業への取り組み（知識活用力も含む）
定期考査			○	◎	各期末考査（年3回実施）
提出物		○		◎	ワークノート・レポート提出・レポート内容
実習状況の観察	○	○	◎		調理実習の取り組み・グループ実習の取り組み

3 学習の注意事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型授業が中心であり、積極的に取り組む。</li> <li>・食品衛生に配慮した身支度と態度で実習に取り組む。（持参する物：エプロン・手ふき用タオル）</li> <li>・食生活の自立に必要な知識と技能を習得する。</li> <li>・ワークノートやプリント等の提出期限を厳守する。</li> </ul>
---

4 年間学習計画

学期	月	学習内容	考査範囲	予定時数
1 学 期	4月	健康と食生活・調理実習・調理の基本	教科書 ワーク ノート プリント	35
	5月	栄養素・食品の特徴・調理実習		
	6月	栄養素・食品の特徴・調理実習		
		食の安全性（食品衛生、安全な食生活を考える）		

2 学 期	7月	様式別献立と食卓作法・調理実習	教科書 ワーク ノート プリント	45
	8月	食品の特徴・調理実習		
	9月	食文化を見つめる・調理実習		
	10月	食品の特徴・調理実習		
	11月	ライフステージと食事計画・調理実習		
3 学 期	12月	テーブルコーディネート（季節に合わせたコーディネート	教科書 ワーク ノート プリント	25
	1月	実習）これからの食生活の課題と展望・調理実習		
	2月			
	3月			

合計 105時間

課程 全日制

教科	家庭	科目	総合家庭	単位数	2	学年	3	科	全学科
使用教科書		教科書なし							
副教材		担当教員が作成したプリント等を使用							

1 科目の目標と評価の観点

目標	1年次に「家庭基礎」で学習した内容を踏まえ、自立し、より良い家庭生活と持続可能な社会生活を創造できる知識と技術を習得し、実践的な態度を育成する。			
評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解
	生活に関する諸課題に関心を持つ。その改善を目指し、主体的に取り組み、実践的な態度を育成する。	生活に関する課題を判断し、思考力を高める。他者との関わる活動を通じて課題解決を目指し実践力を育成する。	生活を主体的に運営するために必要な技能を習得する。	生活を主体的に運営するために必要な知識をつける。特に、衣食住と持続可能な社会を創造するための知識を深める。

2 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
学習状況の観察	◎	○	○	○	出席状況 ICT活用 授業への取り組み状況
提出物	○	○		◎	プリントとレポート提出
製作物	○	○	◎		各教材内容による製作物

3 学習の注意事項とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容は、10分の5以上を実習・実験とする。</li> <li>・話し合いでは、積極的に発言する。</li> <li>・学習内容のレポート作成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習は、目的意識を持ち積極的に取り組む。</li> <li>・実習作品とプリントは、提出期限を守る。</li> <li>・タブレットも積極的に活用する。</li> </ul>
---	---

4 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
1 学 期	4月	持続可能な社会の実現のために（SDGs） 衣生活 自立に向けて作品製作 食生活・自立に向けて家族等の食事に関する問題を見だし課題設定、解決する計画と実習 ・長野県版エシカル消費	考查は実施しない 予定。（2の評価方法をよく確認しておくこと）	22
	5月			
	6月			
2 学 期	7月	家庭生活の充実向上を目指したテーマ探究学習 衣生活 環境に配慮した生活	同上	33
	8月			
	9月			
	10・11月			
3 学 期	12月	住生活 人の一生と住まい、住生活の計画と選択 食生活 行事食	同上	15
	1月			
	2・3月			

合計 70時間